【今週の注目疾患】

≪後天性免疫不全症候群≫

11月29日から12月5日は千葉県ストップエイズウィークです

千葉県では毎年、「千葉県ストップエイズウィーク」として、12月1日（世界エイズデー）を中心にキャンペーンなどを実施しています[1)]。今年は11月29日（日）に、無料・匿名・予約不要（先着順、事前予約も可）の休日街頭HIV検査を実施します。不安なことがある場合には、県ホームページ等をご確認の上、ぜひご活用ください[2)]。

2026年第47週時点の年間累計届出数は35例であった（図1）。

性別では、男性30例（86%）、女性5例（14%）であった。病型別では、無症候性キャリアが21例（60%）、AIDSが12例（34%）、その他が2例（6%）であった（図2）。

図1：県内の後天性免疫不全症候群診断年別届出数（2017-2026年、2026年第47週時点）

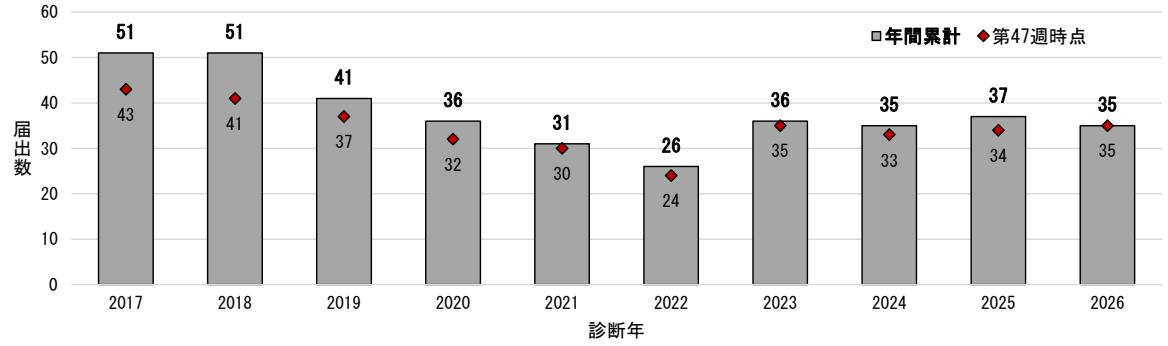
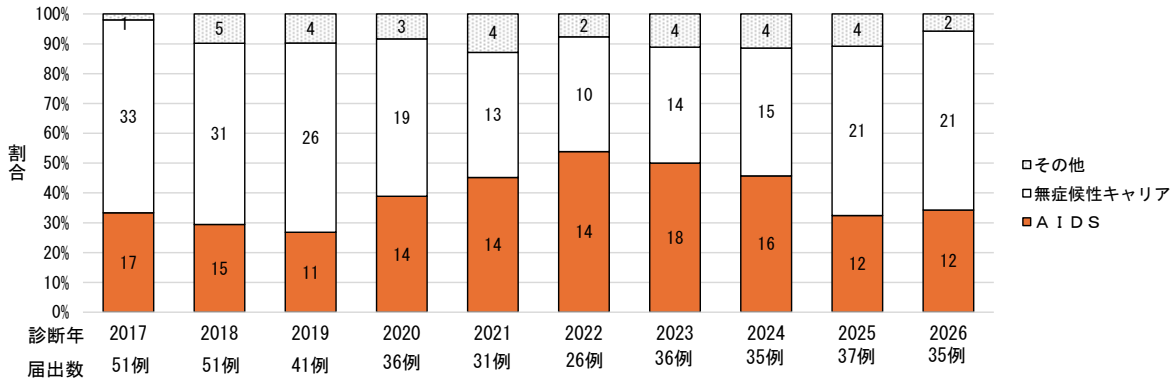


図2：県内の後天性免疫不全症候群の診断年別病型別届出数・割合（2017-2026年、2026年第47週時点）

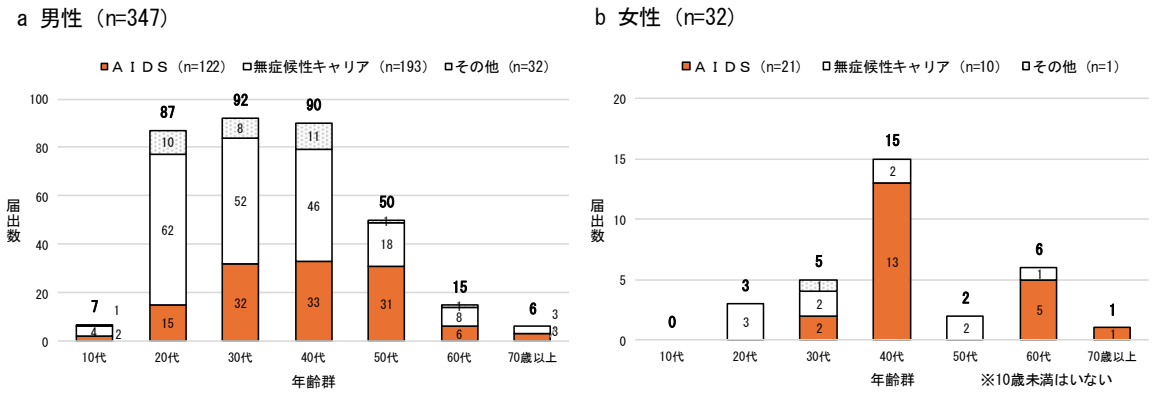


2017年から2026年第47週までに届出のあった379例の概要は以下のとおり。

性別は、男性347例（92%）、女性32例（8%）であり、男性が9割以上を占めた。

病型別は、男性では無症候性キャリアが最も多く193例（56%）、次いでAIDS122例（35%）、その他32例（9%）であった。一方、女性ではAIDSが最も多く21例（66%）、次いで無症候性キャリア10例（31%）、その他1例（3%）であった（図3）。

図3：2017年から2026年第47週までの県内の後天性免疫不全症候群 性別・年齢群別・病型別届出数



後天性免疫不全症候群は、ヒト免疫不全ウイルス（human immunodeficiency virus ; HIV）に感染することで免疫不全が生じ、健常者では通常見られないさまざまな日和見感染症や悪性腫瘍が合併した状態をいう。HIV感染の自然経過は感染初期（急性期）、無症候期、AIDS発症期の3期に分けられ、時間が経過するとともに免疫システムの破壊が進行するため、早期診断、治療がとても重要となる。近年、さまざまな研究において、効果的な抗HIV治療を受けて血液中のウイルス量が検出限界値未満（Undetectable）のレベルに抑えられているHIV陽性者からは性行為によって他の人に伝播しない（Untransmittable）こと（U=U）が分かってきており、早期に医療機関にかかり適切な治療を継続することで、新たな感染を防止することができる[3,4,5]。

ストップエイズウィーク以外でも無料・匿名の検査を実施しています

県では、保健所等において無料・匿名のエイズ等の検査を実施しています。感染が気になる方や不安なことがある場合には、県ホームページ等でスケジュールをご確認の上、ご活用ください[6]。また、保健所等での検査に加え、令和8年11月25日からHIV郵送検査の受付を開始しました。郵送検査は受検者自身が採取した検体を検査会社に郵送し検査を行うものです。対象は、千葉県内（千葉市、船橋市、柏市を除く）の居住者となります。その他、詳細につきましては、県ホームページをご覧ください[7]。

■参考・引用

1)千葉県健康福祉部健康福祉政策課：千葉県ストップエイズウィーク 2026
https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/stopaids.html
2)千葉県健康福祉部健康福祉政策課：休日街頭 HIV 検査について
https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuujitu.html
3)国立健康危機管理研究機構：AIDS（後天性免疫不全症候群）
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/aids/index.html
4)厚生労働省：HIV とエイズ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/aids/index.html
5)厚生労働省：後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針
https://www.mhlw.go.jp/content/001593614.pdf
6)千葉県健康福祉部健康福祉政策課：千葉県内のエイズ等相談・検査
https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/soudan.html
7)千葉県健康福祉部健康福祉政策課：HIV郵送検査について
https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/yusokensa.html